

NSK

EZ SPRAY

(EZスプレー)

取扱説明書

OM-Z0010 001

このたびは、EZ SPRAY(EZスプレー)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は、各ハンドピースの注油をより簡単に、そして効率を良くするシステムです。ご使用前に使用上の注意、取扱方法、また保守点検等につきましてこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法により末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。またこの取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも見ることのできる場所へ保管してください。

△安全上の注意

- ご使用前に必ずこの安全上の注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 危険事項の表示は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の方への危害や損害を未然に防止するためのものであります。危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに分類しています。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

危険事項の表示について

注意の区分	危害や損害の大きさと切迫の程度
△ 危険	「死亡、または重傷を負う可能性がある注意事項」を説明しています。
△ 警告	「人が傷害を負ったり、物的損害の発生がある注意事項」を説明しています。
△ 注意	「軽傷、中程度の傷害、または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。

△ 危険

- ・ 炎に向けて使用しないでください。
- ・ ストープやコンロ等火気付近で、使用しないでください。
- ・ 火気を使用している室内で、大量に使用しないでください。
- ・ 直射日光の当たるところ、炎天下の車内等の温度が40℃以上になるところでの使用や放置をしないでください。
- ・ 火の中に入れてください。
- ・ 分解、改造は、絶対に行わないでください。

△ 警告

- ・ 液漏れやガス漏れに気が付いたときはすぐに使用を中止して、販売店へご連絡ください。
- ・ 人体へ向けて噴射しないでください。
- ・ 弊社の推奨するパナスプレープラス以外には取り付けしないでください。液漏れやガス漏れが起こる原因となります。
- ・ 強い衝撃を与えないでください。特に落下させないように注意してください。缶ホルダーは必ず平らで安定した場所に置いてください。
- ・ パナスプレープラスに取り付けるときや使用しないときは、切換バルブを必ずOFF状態にしてください。

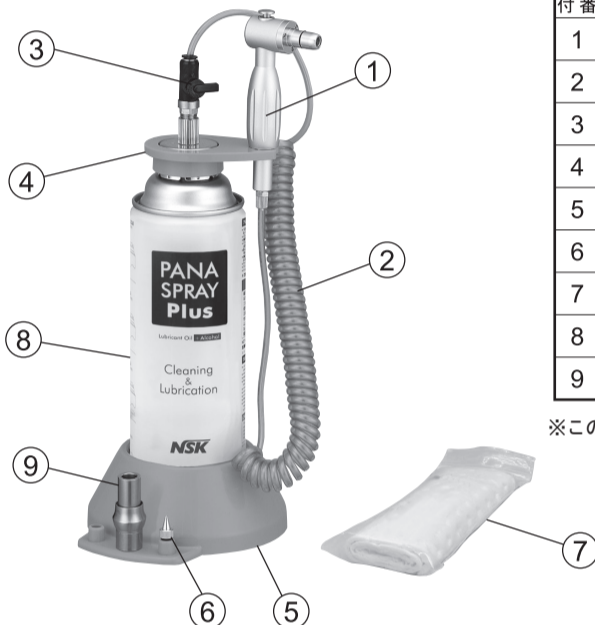
△ 注意

- ・ パナスプレープラスの交換は、中身を使い切ってから行ってください。

◆特長

- ・ パナスプレープラス（別売品）に本製品を装着するだけで、各ハンドピースをワンタッチで接続でき、ワンタッチで注油が行えます。
- ・ スプレー注油するとき、オイルが飛び散らないようにスプレーミスト吸収パックを用意しております。

◆各部の名称



付番	製品名	製品番号
1	EZスプレーグリップ	Z229011
2	コイルチューブ	Z229135
3	切換バルブ	Z229017
4	グリップホルダー	Z229201
5	缶ホルダー	Z229020
6	PA用ノズル	Z229030
7	スプレーミスト吸収パック	Y900084
8	パナスプレープラス(別売品)	Z182100
9	PTL用ノズル(別売品)	Z229035

※この他にOリング(D0312032120)が付属しています。

◆取り付け方法

1. 切換バルブの取り付け準備

切換バルブのレバーが、OFF状態であることを確認してください。(図1)

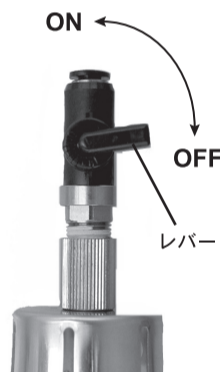


図1

2. 切換バルブの取り付け

パナスプレープラスを両手で包み込むようにしてしっかりと押さえ、切換バルブをまっすぐに差し込みます。(図2)

△ 注意

- ・ 切換バルブのレバーが、OFF状態であることを確認してください。
- ・ 切換バルブを斜めに差し込むとパナスプレープラスのノズルとの間にすきまが生じて液漏れの原因になります。



図2

3. グリップホルダーの取り付け

パナスプレープラスをしっかりと押さえながら、グリップホルダーを切換バルブにかぶせるような感じで、キャップの面と平らになるまで押し込み取り付けます。(図3)

△ 注意

- ・ グリップホルダーの上下の向きは図3のようにして取り付けしてください。逆向きに取り付けると、グリップホルダーが抜けやすく、またキャップを押さえる力も弱まります。



図3

4. コイルチューブの取り付け

パナスプレープラスの上部をしっかりと押さえながら、切換バルブにコイルチューブの先端を挿入すると、接続口から2mm程度奥へ入ったところで1度止まります。その後徐々に力を加えて、奥で止まるまでしっかりと押し込んでください。(図4)

△ 注意

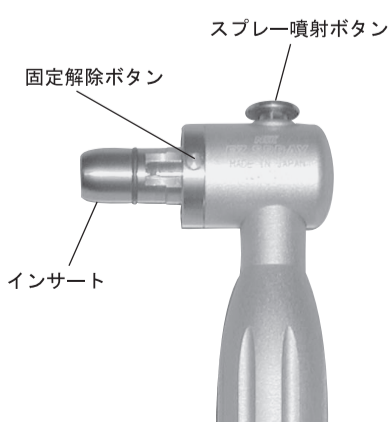
- ・ 切換バルブのレバーが、OFF状態であることを確認してください。
- ・ コイルチューブの取り付けが浅いと、スプレーガスの圧力によってコイルチューブが外れる可能性があります。取り付けたあと必ずコイルチューブを軽く引っ張り抜けないことを確認してください。



図4

◆注油について

1. EZスプレーグリップの部分名称および、その補足説明



- ・ スプレー噴射ボタン：押しますとパナスプレープラスが噴出します。
 - ・ インサート：Eタイプハンドピースへそのまま接続できます。
 - ・ 固定解除ボタン：Eタイプハンドピースおよび、PTL用ノズル(別売品)を取り外すときに使用します。
- ※ その他の注油に関する事項は、各種ハンドピース取扱説明書の指示に従って行ってください。

図5

2. スプレーミスト吸収パックの使用方法

注油する際は、各ハンドピースをEZスプレーグリップに取り付けてから、スプレーミスト吸収パックに各ハンドピースのヘッド部分を差し込み、しっかり押さえてからスプレー噴射ボタンを押してスプレーしてください。(図6)

また、使用しているうちにスプレーミスト吸収パック内全体にオイルが浸透してきたら交換時期ですので、新しいスプレーミスト吸収パックを販売店でお買い求めください。

※スプレーミスト吸収パック：製品番号 Y900084



図6

3. Eタイプハンドピースへの注油 (ISO規格3964に準ずるハンドピース)

EZスプレーグリップのインサートへハンドピース後部を止まるまで差し込み、スプレー噴射ボタンを押してスプレーします。(図7)

ハンドピースの取り外しは、EZスプレーグリップの固定解除ボタンを押しながら矢印の方向へ引き抜くと取り外せます。(図8)

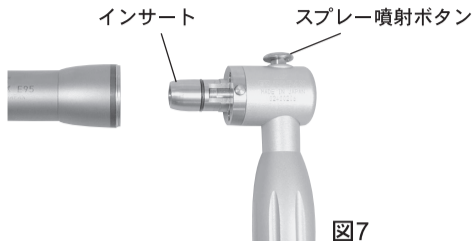


図7

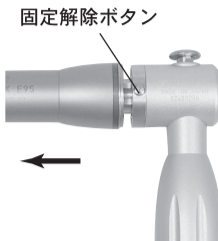


図8

⚠ 注意

- ・ハンドピースを止まるまで差し込んだあと前方へ引っ張り、抜けないことを確認してからスプレーを行ってください。
- ・ハンドピースの取り付けが確実でない場合、スプレーしたときの圧力でハンドピースが飛び出すことがあります。
- ・EZスプレーグリップの固定解除ボタンを押した状態でスプレー噴射ボタンを押すと、スプレーしたときの圧力でハンドピースが飛び出しますので、スプレーを行うときは固定解除ボタンを押さないでください。

4. エアタービンハンドピースへの注油 (ISO規格9168に準ずるハンドピース)

EZスプレーグリップのインサートへPA用ノズルを止まるまでねじ込んでしっかり固定してから、ハンドピースの給気穴へノズル部分をしっかりと押し当て、スプレー噴射ボタンを押してスプレーします。(図9)

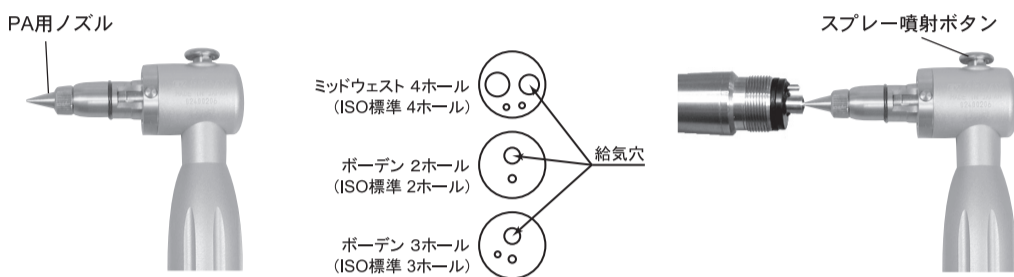


図9

⚠ 注意

- ・ハンドピースをしっかりと押さえていない場合、スプレーしたときの圧力でハンドピースが飛び出すことがあります。

5. NSKパテラス、マツハカップリング用ハンドピースへの注油

(1) EZスプレーグリップのインサートへPTL用ノズル (別売品) を止まるまで差し込み取り付けます。(図10)

⚠ 注意

- ・PTL用ノズル(別売品)を止まるまで差し込んだあと、前方へ引っ張り抜けないことを確認してください。

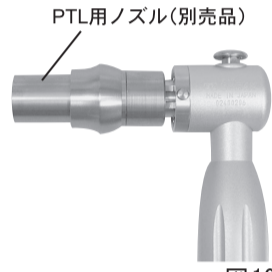


図10

(2) PTL用ノズル(別売品)の着脱リングを矢印の方向へ引きながら(図11)、ハンドピース後部をまっすぐ差し込み止まったところで着脱リングを離します。それから、スプレー噴射ボタンを押してスプレーします。(図12)

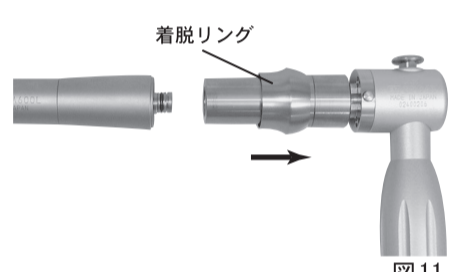


図11

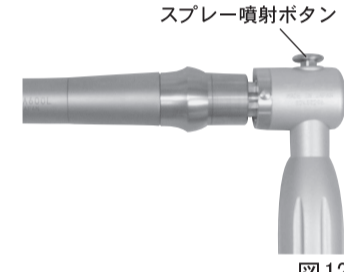


図12

⚠ 注意

- ・ハンドピースおよび、PTL用ノズル (別売品) の取り付けが確実でない場合、スプレーしたときの圧力でハンドピースが飛び出すことがあります。

(3) ハンドピースの取り外しは、着脱リングを引いた状態で前方へ引き抜きます。PTL用ノズル(別売品)の取り外しはEZスプレーグリップの固定解除ボタンを押しながら矢印の方向へ引き抜くと取り外せます。(図13)

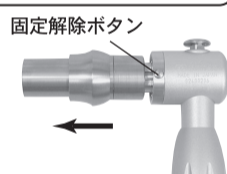


図13

◆取り外しおよび交換方法

これからご説明する各部分の取り外しおよび交換は、EZスプレーグリップのスプレー噴射ボタンを押してパナスプレープラスの中身を抜いてから行ってください。

1. コイルチューブの取り外し

パナスプレープラスの上部をしっかりと押さえてから、コイルチューブを2本の指で挟み込むようにして取り付け口を矢印の方向にしっかりと押しながら、コイルチューブを引き抜きます。(図14)

⚠ 注意

- ・切換バルブのレバーが、OFF状態であることを確認してください。
- ・コイルチューブを無理に引き抜くと損傷や早期劣化の原因となります。



図14

2. 切換バルブの取り外し

パナスプレープラスをしっかりと押さえてから、キャップの側面にある穴(図15)へドライバー(φ4mm程度)の先を差し込み、矢印の方向に力を加えて取り外します。(図16)



図15



図16

⚠ 注意

- ・切換バルブのレバーが、OFF状態であることを確認してください。
- ・切換バルブがパナスプレープラスから外れた瞬間に中身が噴出する場合がありますので、各部をしっかりと押さえて取り外し作業を行ってください。

3. Oリングの交換方法

切換バルブから液漏れがあった場合には、新しいOリングと交換してください。

- ① 切換バルブ内側のノズル取り付け部より、古いOリングをピンセット等で2個共取り外します。
- ② 新しいOリング2個を、ピンセット等でノズル取り付け部内のOリング溝(図17、斜線部)に、取り付けてください。

※Oリング：製品番号D0312032120

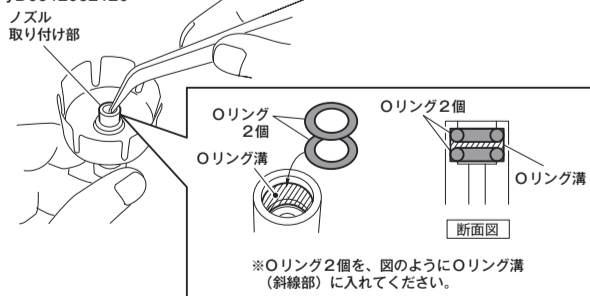


図17

⚠ 注意

- ・切換バルブをパナスプレープラスへ接続する場合は、Oリングの装着状態を確認してまっすぐ入るようご注意ください。Oリングが脱落したり、ねじれたり、損傷等すると液漏れの原因になります。
- ・損傷や紛失した場合には、新しいOリングを販売店でお買い求めの上、交換してください。

◆保証について

弊社製品は、製造工程の欠陥や材質の不良に基づく故障に対して無料修理をいたします。ただし、故障原因の判定は弊社において行います。また、取り扱い上の不注意、通常のご使用における摩耗等による故障は有償サービスを行っておりますので、販売店へお預けになってください。弊社では、製品の製造を中止してから7年間は補修用部品を供給しますので、この期間を修理可能期間とさせていただきます。